

## 麻生家文書資料紹介(その八) : 「坑夫取締日誌」 (V・完)

今野, 孝  
福岡大学商学部

<https://doi.org/10.15017/13737>

---

出版情報 : エネルギー史研究 : 石炭を中心として. 13, pp.206-216, 1984-12-25. 九州大学石炭研究資料センター  
バージョン :  
権利関係 :

麻生家文書資料紹介(その八)

「坑夫取締日誌」

(V・完)

今野孝

十一月二十四日 晴天

- 一 栗崎・武井・瓜生・后藤各小頭八午前第六時出勤入坑ス
- 一 平野函操八午前六時出勤入坑ス
- 一 処病氣ノ為メ登坑欠勤ナス
- 一 福沢取締八午前第四時出勤ナス
- 一 捲始時間八午前第六時三十分ナリ
- 一 野中取締八七時出勤ス
- 一 ⑩但シ(以下空白)
- 一 朝倉取締八病氣ニテ欠勤ナス
- \* 一 遠坐九助外一人ニ対シ家事上ノ都合ニ依リ金拾円ノ手續キヲナシ借渡ス(\*欄外「貸金」)
- \* 一 三円 西田万右衛門鳥井寄附金ニ入用ト貸渡ス(\*欄外「貸金」)
- 一 本日午后四時藤田来リ外ニ坑夫一人ヲ連レ彼ノ件為メ尚坑内へ入り事業先キヲ見ラセタリ⑩

十一月廿五日 晴天

- 一 栗崎・武井・瓜生・后藤各小頭八午前第六時十分出勤入坑ス
- 一 平野函操八午前六時出勤入坑ス
- 一 朝倉取締八九時三十分出勤ス
- 一 福沢取締八午前四時三十分出勤ナス
- 一 捲始時間六時三十分ナリ

\* 一 福田平右衛門へ野見作保証ニ依リ貸渡ス但シ三円也

- 一 坑夫藤原又吉・工藤鶴吉ノ氏名本日退坑 (\*欄外「貸金」)
- 右⑩

十一月廿六日 雨天

- 一 瓜生・武井・后藤・栗崎各小頭八午前第六時出勤入坑ス
  - 一 平野函操八午前第六時出勤入坑ス
  - 一 福沢取締八午前第三時五分出勤ス
  - 一 捲始時間午前六時三十分ナリ
  - 一 朝倉取締八四時出勤ナス
  - \* 一 坑夫新庄雀松ナル者三十一一年十一月廿一日坑内四肩左ニテ従業中石飛懸タル為メ左眼ヲ負傷ナシタル始末本日午前八時届出シタルニ依リ後日救助心得ノ為メ爰ニ記ス⑩(\*欄外「心得」)
- 十一月廿七日 雨天
- 一 栗崎・武井・瓜生・后藤各小頭八午前六時出勤ス
  - 一 平野函操八午前第六時出勤入坑ス
  - 一 朝倉・福沢取締八午前第三時十分出勤ナス
  - 一 捲始メ時間八午前六時三十分ナリ
  - 一 本日午前第七時頃坑夫新庄雀松ト家内トノ間ニテ昨夜少々間違ノ為メ出家離別セントスルヲ松岡伊平家内モンナル者近隣ノ情ニテ是ヲ向ヒ押止メ連帰リタリ依テ雀松家内ヲ呼寄セ雀松病氣ニテ難儀致

居ル都合等種々説論ヲナシ以後叮嚀ニ取扱ヒ致様申聞セ尚<sup>備</sup>等モ無之由ナレバ薪モ兼テ勉強之都合ニ依リ無代価ニテ与ヘ尚同人ノ木部徳藏ニ九円七十銭ノ貸金アルヲ以テ是モ特ニ同人呼附ケ雀松モ病氣ニテ困難ノ場合ニ付キ幾分ニテモ返済為致様申渡シタリ乍併本日ニ間合兼子タル場合ニ依リ相当手續キヲ以テ事務所ノ金三円ヲ貸渡ス

病氣ハ眼病尤モ坑内ニテ從業中石ノ飛込ミタル為メナラン

(\*欄外「貸金」)

①

一 火夫員榮造ナル者廿六日一番方ニ当番ナルモ怠タリ尚四番方ニ当番ナルモ是又怠タリ何分起リタルカト云フニ全ク大酒ナシタル為メ此ノ様ナル不都合再度ナルヲ以テ職長高しま氏ノ解雇セントスルモ丸林ノ中裁ニ依リ同人ニ任セ開坑部ニ呼附ケ充分ニ説論ナシ以後節酒シ且ツ謹慎ナシ処ニテ始末書ヲ為出セ聞濟マシタリ

②

\* 一 坑夫横山嘉郎ナル者都合ニ依リ退坑ナシタルモ積金殘金ヲ以テ平野飯場ニ差引ナス様福沢取締立会シ約定ナシタルニ依リ本日回議表ヲ以テ提議ヲナシタリ許可ス (\*欄外「貸金戻ス」)

右ハ野中取締午后貳時三十分出勤ナス

右③

一 加藤岩吉弟九市本日坑夫志願候也

\* 一 金三円坑夫福岡博多市西職人町加藤岩吉・加藤九市トノ二人貸渡ス保証人ハ中村代二郎ナリ (\*欄外「貸金」)

\* 一 金壹円五十銭是ハ藤崎清市去拾五日坑内五肩第四三尺ニテ負傷ナシタルニ付十日間分ノ救助ナス (\*欄外「救助」)

一 坑夫募集人松岡菊太郎ノ病氣為メトテ延期ヲ乞フタタル日ハ本日ナリ

\* 一 金壹円是ハ坑夫原字佐吉ニ対シ貸渡ス保証人ハ野見山作市ナリ (欄外「貸金」)

一 広島坑夫尾茂榮造・坂井健太郎・近藤榮造ノ三名ハ本日午后第七時頃口油買ヒノ為メトテ出テ行キシ儘逃走

一 福沢・朝倉兩取締ハ広島坑夫ニ対シ夜警戒ヲナセリ

右④

十一月廿八日 微雨

一 福沢・朝倉兩取締ハ昨夜ヨリ夜警ノ儘出勤

一 瓜生・栗崎・后藤・武井ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑

一 野中取締部長ハ午前第七時三十分出勤

一 本日捲始メハ午前第六時拾分ナリ

一 昨夜逃走坑夫之訊問候処三隅榮太郎之曰ク我カ原籍之者山田炭坑トカニ居ルト之ヲ二付若シ夫レニ行キハ居ラサルカト云其知人之氏名ハ友田善三郎・菅野円次郎・住吉寅市・織田市造・住吉充太郎・井原喜作・土間松太郎ナル由

一 坑外日役中村久介本日都合ニ依退坑ス

一 昨廿七日午后ヨリ無断他出シタル広島坑夫三名ノ内近藤榮造ハ本日帰坑

一 坑夫夫小桜富太郎本日志願

右⑤

十一月廿九日 晴天大霜

一 福沢・朝倉取締ハ午前第四時三十分出勤

一 平野函操ハ午前第五時出勤入坑ノ処直チニ病氣欠

一 栗崎・后藤・武井ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑

一 本日ノ捲始メハ午前第六時二十分

一 坑夫坂井健太郎・尾茂榮造ノ兩人ハ二三日前ノ逃走ナシ居ルタル

一 本日山野炭坑ニテ稼ギ居ル始末近登榮造ナル者ノ引合来リ実ハ全

一 人早朝連帰ラント態ト向ニ出テタルモ聞入レザルヲ以テ爰ニ届ケ出

一 タル者ノ如シ依テ福沢取締ハ三井山野炭坑ニ至リ事務所員加藤ト

一 一 坑夫坂井健太郎・尾茂榮造ノ兩人ハ二三日前ノ逃走ナシ居ルタル

一 本日山野炭坑ニテ稼ギ居ル始末近登榮造ナル者ノ引合来リ実ハ全

一 人早朝連帰ラント態ト向ニ出テタルモ聞入レザルヲ以テ爰ニ届ケ出

一 タル者ノ如シ依テ福沢取締ハ三井山野炭坑ニ至リ事務所員加藤ト

申ス御方ニ其始未及長次郎ト云フ者ノ宅ニテ稼ギ居ルト申シタルニ  
 全氏ハ直チニ取締ヲ呼出シ暫ラクシテ取締ハ其二人ヲ連来リ引渡サ  
 レタリ依テ其儘連レ歸リ充分ナル見セ(シメ)ヲナシ後二三隅栄太  
 郎ナル者ヲ呼寄セ尚小頭后藤寛造氏モ来ラレ種々談判ノ末向來ノ身  
 柄引受人トナシタルハ三隅ト近登榮造氏人ナリ相当身柄引受書ヲ取  
 リ相片付ケタリ尤モ説諭ハ訥筆ニテ書得ガタシ沢山ノ丁

十一月三十日 晴天

栗崎・武井・瓜生・后藤ノ各小頭ハ午前第六時出勤ス

平野函操午前第六時出勤ナス

福沢取締ハ少シ自用ノ為ノ午前第六時十分ニ出勤ナス

朝倉取締ハ自要之為メ小倉行欠勤ナス

本日ノ捲始メ時間ハ午前第六時二拾五分なり

野中取締ハ来客之為欠勤ナス

野中取締ハ午前第七時出勤ナス

山田古川炭坑々夫来リ種々談判ノ末十二月五日迄ニ惣差引合退シ

来シ処ノ約定ヲ為シ打別レタリ

右

十一月三十日

右

十二月一日 晴天 交換

福沢取締出勤坑夫貸金手当ヲナス

一金八円 藤しま富吉ニ貸渡ス

一同三円 阿野清七ニ貸渡ス

一同四円 元光松太郎ニ貸渡ス

一同三円 原字佐吉ニ貸渡ス(\*欄外「貸金」)

依リ飯塚亭車場及飯塚町等相尋子候モ不明ニ付空敷帰坑ナシ同人納

やニ至リタル二十二時頃口打連レ帰坑ナシタリ考ヘルニ他坑ヘ什  
 先ノ聞合セニ出デタルナラン

右

十二月二日 雨天

栗崎・武井・瓜生ノ各小頭ハ午前第六時出勤ナス

平野函操ハ午前第六時出勤ナス

后藤小頭ハ広島今坑夫来リ為メ道具等ノ心配ノ為メ本日ハ坑内ヘ  
 八下ラズ

福沢取締ハ昨夜々警シ儘出勤ナス

一金六円 本日志願坑夫北光才市・妻ミサヨ・母フイ・市助五人  
 妹タツ (\*欄外「貸金」)

一同三円 本日志願坑夫井崎軍次・大塚岩吉二人

大塚兵次郎・白神富士太郎ハ帰坑ス

阿崎清七ハ坑夫志願ス

堀江トキ・片山芳太郎ハ逃走ス

右

十二月三日 雨天

栗崎・武井・瓜生各小頭ハ午前第六時出勤ナス

后藤小頭ハ午前第五時四拾分出勤ナス

平野函操ハ午前第六時出勤ナス

福沢取締ハ午前第五時出勤ナス

野中取締ハ午前第六時三拾分出勤ナス

本日捲始メハ午前第六時三拾分ナリ

右

十二月四日 晴天

瓜生・后藤・栗崎・武井・平野之各小頭ハ午前第六時出勤入坑ナ  
 ス

依リ飯塚亭車場及飯塚町等相尋子候モ不明ニ付空敷帰坑ナシ同人納

福沢取締八午前第三時出勤朝倉代理操込ナス

野中取締八午前第七時出勤ナス

本日之捲始メ八午前第六時三拾分ナリ

小桜富太郎・荒捲増太郎ノ両名ハ昨夜九時頃ナラン逃走ス

五円 松岡伊平貸渡ス（\*欄外「貸金」）

十二月五日

栗崎・武井・瓜生・后藤ノ各小頭八午前第六時出勤入ス（抗脱）

平野函操八午前第六時出勤入坑ス

野中取締ハ自要ニテ小倉ニ出張アリタリ

福沢取締八午前第三時出勤ナス

昨夜佐勢保坑夫藤田光五郎・芳野雀吉・徳永卯吉・佐藤嘉六逃走ス

尚逃跡ノ諸品ヲ取寄セタリ

尚二ツ歌ヲ残したり其歌ハ

徳利にはりたるは うぐいすの梅にはなれてやぶにすむ

は（版訂）んたいにはりたるは 住なれし上三緒の山も雲かすみ

またくる春をまつばかり われたつあとは誰ぞくるらん

右（印）

西田原三郎ノ娘西田ツ子ヨ本日坑夫志願ナス

坑夫志願者如左

豊田作次・篠村利吉・吉原龍造・権藤元三郎

右四人志願ナス

\* 一 式円 明七岩吉ニ貸渡ス（\*欄外「貸金」）

一 壹円 豊田作次外三人ニ貸渡ス 守平保証人

右（印）

十二月六日

栗崎・武井・瓜生・后藤ノ各小頭八午前第六時出勤ナス

平野函操八午前第六時出勤ナス

福沢取締八午前第四時出勤ナス 朝倉郡皆木村大字久保取

\* 一 三十一年十二月五日 棹取 江戸 竹次 郎

右ノ者坑内乗廻従業中四肩ニテ炭車達線致シタル為メ右ノ足ヲ負傷

シタリ后日救助ノ関係有之為メ爰ニ記ス（\*欄外「救助関係件」）

一 田中栄一郎逃走ニ付取消ス

一 本日午前十二時職人納や丸林ノ宅ニテ冷午田常吉・岩永徳太郎・

熊谷久吉・有吉和四郎・丸林ノ五人ニテ博奕ヲ取扱ヒタルヲ福沢取

締坑所巡視中見止メ其道具ト現金式拾銭切ぶ六十銭ヲ持帰り充分ナ

ル処分ナサントスルヲ小頭后藤寛造来リ此人等ハ我が受持坑夫ニ候

得者又トハ不申候モ此度ハ自分ニ任セ呉トノ丁ニ依リ福沢ハ后藤ニ

向イ事務員ノ内ニ有リナガラ此点如キノ世話ハ少シ考ヘ違ヒハ無之ヤ

ト申シタルモ爰ヲ他ニ知ラセザル様只自分ト君ト二人ノ処耳ニナシ是

非自分ニ任セ呉トノ事ニ付キ全人ニ任セ皆々ヲ呼寄セ充分ニ説諭ヲ

為シ熊久・丸林ノ如キハ常ノ不勉強ニ依リ一層説諭ノ荒キヲ増シ向

来訖度相慎ミ不都合不致旨断リ申立ヲ后藤ノ保証ニモ依リ相済タリ

右（印） 十二月七日 晴天

栗崎・武井・瓜生・后藤ノ各小頭八午前第六時出勤入坑ナス

一 平野函操八午前第六時入坑ス

一 朝倉取締ハ当時帰郷ノ処昨夜后ノ七時頃帰坑ナシ本日午前第四時

出勤ナス

一 福沢取締八午前第三時出勤ナス

\* 一 金銭六円 井上精次郎ニ貸渡ス（\*欄外「貸金ノ件」）

右（印）

十二月八日 曇天

栗崎・后藤・武井ノ各小頭ハ共ニ午前第六時出勤入坑ス  
平野函操八午前第六時出勤入坑ス

朝倉取締八午前第四時出勤ス

本日ノ捲始八午前第六時二十分ナリ

福沢取締八午前第六時三十分出勤

坑夫退坑セシ者ハ富安巳代吉・妻ハルノ二人

十二月九日

栗崎・后藤・武井・瓜生各小頭八午前第六時出勤ナス

平野函操八午前第六時五分出勤入坑ス

朝倉取締八午前五時出勤ナス

福沢取締八午前第四時出勤ナス

捲始時間八午前六時式十分ナリ

右㊦

十二月十日

栗崎・后藤・瓜生・武井各小頭八午前第六時出勤ナス

平野函操八午前第六時出勤入坑ス

朝倉取締八午前第四時出勤ナス

福沢取締八午前第三時四十分出勤ナス

本日捲始時間八午前第六時式十分ナリ

福沢取締八下山田松本菊太郎へ貸金請求ノ為メ出張ナス

右㊦

十二月十一日

栗崎・后藤・瓜生・武井各小頭八午前第六時出勤ナス

平野函操八午前第六時出勤入坑ス

朝倉取締八午前第四時出勤ナス

福沢取締八午前六時三十分出勤ナス

野中取締八午前第八時三十分出勤ナス  
谷口勝太郎ナル者木部徳造ニ金五円詐欺手段ニ而借ラレシ旨申出  
タリ

\* 一 金貳円 坑夫沖田房太郎ニ貸渡ス保証人ハ三隅栄太郎ナリ

一 同貳円 井手口市太郎・税田竹藏ノ二人ニ貸渡ス

一 同拾五円 宮本太七外ニ対シ貸渡ス (\*欄外「貸金」)

右㊦

十二月十二日

瓜生・栗崎・武井・后藤之小頭午前第六時出勤ナス

一 福沢取締八午前第三時出勤ナス

一 野中取締八午前第八時出勤ナス

一 本日捲始メ午前第六時三十分ナリ

一 朝倉取締八午前第九時出勤ナス

右㊦

十二月十三日 雨天

一 瓜生・栗崎・后藤・武井之小頭午前第六時出勤入坑ナス

一 福沢取締八午前第三時出勤ナス

一 朝倉取締八午前第三時出勤ナス

一 野中取締八午前第八時出勤ナス

一 本日捲始午前第六時式十分ナリ

一 松本菊太郎貸金五円丈返金ナス

一 十二月五日ヨリ全月十三日迄ノ志願坑夫如左

木部助太郎 吾妻竹次郎 井手口市太郎・妻ムラ

渡辺善助・妻サク 岩浪常造・妻日役 長男辰雄・二男富人

沖田房太郎・妻トメ 浅原勘太郎 松田竹市・妻ユク

高橋伊作 田中龍司・妻クラ 中島国太郎・妻タカ

福沢村吉・妻夕子 宮本太七・妻イソ

ノ二十四人

右㊦

十二月十四日 雨天

- 一 瓜生・栗崎・武井・后藤之各小頭午前第六時出勤入坑ナス
- 一 福沢取締ハ午前第三時出勤ナス
- 一 朝倉取締ハ午前第八時出勤ナス
- 一 野中取締ハ午前第九時出勤ナス
- 一 本日捲始メハ午前第六時ナリ
- 一 本月十一日宮本太七・福沢村吉ニ貸付ケタル拾五円ハ本日拾円ヲ
- 一 宮本太七ニ貸付五円ヲ福沢村吉ニ貸付ケタリ依テ証々ニ枚ニナス

右㊦

十二月十五日

- 一 瓜生・栗崎・武井・后藤之小頭午前第六時出勤入坑ナス
- 一 朝倉取締ハ午前第六時出勤ナス
- 一 福沢取締ハ午前第一時出勤ナス
- 一 野中取締ハ午前第七時三拾分出勤ス
- 一 本日捲始メ午前第六時式十分ナリ

右㊦

十二月十六日

- 一 栗崎・武井・瓜生・后藤各小頭ハ跡間彼是ノ為メ出勤ナス
- 一 福沢・朝倉勤務ス午前七時ナリ
- 一 野中取締モ出勤ナス午前七時ナリ

右㊦

- \* 一 坑内六肩左金片切落梓入二番方ニテ左足部ヲ負傷ナシ旨届出テ候
- 二 付后日救助ノ心得之為メ爰ニ記ス坑夫遠坐九助(\*欄外「救助心得」)
- 但シ負傷ナシタル日ハ本月九日ナリ
- 一 野中取締午后八時坑所巡視異事ナシ

右㊦

十二月十七日

- 一 瓜生・栗崎・后藤・武井・平野小頭午前第六時出勤ナス
- 一 福沢取締ハ午前第五時出勤ナス
- 一 朝倉取締ハ午前第三時出勤ナス
- 一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス
- 一 本日之捲始メハ午前第六時式十分ナリ
- 一 当坑々夫井上松太郎ハ山内坑小頭拜命本日転勤
- 一 当坑々夫大山ヒロハ病氣ノ為メ退坑
- 一 佐藤国太郎ハ中川安平ノ保証ニテ本日坑夫志願
- \* 一 当坑々夫遠坐九助ハ十二月九日坑内負傷セシヲ以テ本日十分ノ救助金壹円五拾銭ノ給与手續キヲナス(\*欄外「救助金」)

右㊦

十二月十八日 雨天

- 一 朝倉取締ハ午前第四時出勤
- 一 瓜生・武井・栗崎・后藤・平野各小頭ハ午前第六時出勤入坑
- 一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス
- 一 福沢取締ハ午前第八時出勤ナス
- 一 本日ノ捲始メ午前第六時二十分ナリ
- 一 本日福岡県筑紫郡宰府村平島及太郎、広島県山形郡大朝村大字田原隅吉清太・妻静野・次男徳市・三男庸市、全木引栄次・長男円吉、全押山万九郎、全冲益栄助、全住吉律平、全押山幾太郎ノ拾名本日志願
- \* 一 本日志願シタル広島県隅吉清太外九名ハ三隅栄太郎保証ニテ金拾五円丈貸与ス(\*欄外「坑夫貸金」)
- \* 一 本日稲員勘七・権藤元三郎・篠村利吉ノ参名ハ中川安平ノ保証ニテ金四円五拾銭貸与ス(\*欄外「坑夫貸金」)

右㊦

十二月十九日 晴天

栗崎・瓜生・武井・后藤ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑ス

平野函操ハ午前第六時出勤入坑ス

福沢取締ハ午前四時三十分出勤ナス

本日捲始メ時間ハ午前六時三十分なり

朝倉取締ハ午前第六時出勤

野中取締ハ午前第七時出勤ナス

本日坑内第<sup>（左）</sup>肩矢野久松・木部助太郎ノ切葉ニ於テ全人等ノ切り

貯メタル炭凡ソ老函分ト背棒並ニ篋老荷紛失致シ居ルヲ以テ全人等

ハ処々捜査ノ上背棒・篋ハ木部助太郎<sup>（右）</sup>妻カ使用シ居ルヲ発見シタル

ヲ以テ炭ヲモ全人窃ミタル者ナラント信シ全人ニ向ヒ他人ノ切葉ニ

在ル背棒ト篋トヲ他人ノ切葉ニ来リ持チ行ク以上ハ炭モ全処ニ在リ

タルヲ以テ定シ汝カ窃ミタル者ナラント謂ヒシニ炭ハ知ラズ背棒ト

篋トハ使ヒ居ルナリ使ヒ居ルトテ何ソノ不可カ是レ在ラント一二言

謂ヒ居ル時木部徳藏ハ来リ破<sup>（破）</sup>ヲ助太郎ニ抛チタルヲ以テ助太郎ハ叔

父ノ事ナル故徳造ニハ抵抗セザリシニ徳造モ二三回毆打致シタルノ

ミナルヲ以テ助太郎モ切齒シツ、自分ノ切葉ニ歸リ居ルノヲ途中ヨ

リ徳造ノ長男武十亦来リ何故父ヲ毆打スルカ（助太郎ハ徳造ヲ毆<sup>（毆）</sup>

トテ助太郎ヲモヤ毆打致シタル由ニテ其旨久松・助太郎ノ兩人ヨ

リ申出テタリ

一 本日午后第六時本村教円寺ヨリ当坑坑夫来リ乱暴致シ居ル旨急訴

セシヲ以テ福沢・朝倉両取締ハ直チニ出張セシニ当坑坑夫ニ非ザル

ヲ以テ其旨住持寺ニ申聞ケ引取ラントセシニ住僧ヨリ程克ク追出シ呉レ

トノ哀願ニヨリ酩酊シ居ル姪ノ浜桶トヤラニ説諭ノ上全寺ヲ去ラシ

メ置ケリ

一 本夜午后第七時新庄蔓松来密告スルニ木部徳造父子ハ矢野久松・

木部助太郎ヲ斬リ殺ストテ刃<sup>（刀）</sup>ヲ用意シ久松・助太郎ハ斬ルナラ斬ラ

レテ見ルトテ裸体トナリ是レ亦用意致シ居ル旨申来リタルヲ以テ警

戒ヲナシ午后第八時納屋巡回ヲナシタル処徳造方モ久松方モ其用意

更ニ見エズ無事平穩ノ模様ナルヲ以テ只夕警戒ノミヲ為シ置ケリ

（本件ハ本日坑内ニテ争論ノ結果ニシテ前項参照ノ丁）

右㊦

十二月廿日 晴天

一 朝倉取締ハ午前第三時三十分出勤

一 瓜生・栗崎・后藤・武井・平野ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑

一 本日ノ捲始メハ午前第六時三十分

一 福沢取締ハ午前第三時出勤坑所巡視ナスモ自宅ヨリ急要出来ルニ

依リ直チニ帰宅ナシ後ニ又出勤ナス此時八時五分なり

一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス九時式十分ヨリ緒方君ノ転坑ニ依

リ忠隈ニ出張ナス

\* 金五拾銭道具トノ綱分篠崎キンニ貸渡ス（\*欄外「貸金」）

但シ十二月十九日之分爰ニ記ス

一 徳島県徳島郡西新武内金太郎・全県三吉郡三繩村立石亀吉坑夫志

願ナス

一 篠崎久太郎退坑ナス深田林造・木村元吉・木下ユキノ・大塚勘次

逃走ナス

右㊦

十二月廿一日 晴天

一 瓜生・栗崎・后藤・武井・平野之各小頭午前六時出勤ナス

一 朝倉取締午前第四時出勤ナス

一 野中取締午前七時出勤ナス

一 本日之捲始午前第六時ナリ

一 福沢取締ハ午前第七時三十分出勤ナス

\*一 坑婦浮田セイハ午后第十時蒸汽却ニ從業中較降落ノ為メ背部ヨリ

足部ニ掛ケ負傷ヲナセリ依テ直接醫師ヲ招キ治療ナサシメ置リ

一 野中取締午后八時坑所巡視異事ナシ (欄外「救助心得」)

右㊦

十二月廿二日 晴天

一 瓜生・栗崎・武井・平野小頭午前第六時出勤ナス

一 福沢取締八午前第四時出勤ナス

一 朝倉取締八午前第六時出勤ナス

一 野中取締八午前第八時出勤ナス

一 本日捲始メハ午前第六時ナリ

\*一 金一円 口ノ春山本佐一郎ニ道具料トノ貸渡ス (\*欄外「貸金」)

坑夫志願者如左

武内金太郎・立石亀吉ノ兩名志願ス

右㊦

十二月廿三日

一 瓜生・栗崎・武井・平野各小頭午前第六時出勤入坑ナス

一 福沢取締八午前第四時出勤ナス

一 朝倉取締八午前第五時出勤ナス

一 野中取締八午前第六時三十分出勤ナス

一 本日之捲始午前第五時四十分ナリ

一 后藤小頭午前第六時出勤入坑ナス

一 坑夫森嵩豊吉・森助造志願ナスモ棹取ニ転業ナス

一 坑夫志願雪野竹松ナリ

一 本日午前第十一時三十分瓜生氏出張永々ト坑業上ニ就テ咄アリタ

リ

一 大塚岩吉・井嵩軍次ノ兩人ハ昨二十二日ノ夜逃走ナス

一 坑夫業岩坂常造・中村安造ノ二人志願木部徳造納ヤニ同居ナス

右㊦

十二月廿四日

一 瓜生・栗崎・武井・后藤・平野小頭午前第六時出勤入坑ナス

一 朝倉取締八午前第三時出勤ナス

一 福沢取締八午前第三時出勤ナス

一 野中取締八午前第八時出勤ナス

一 本日夕坑内夜警取締トシ而入坑ナス其巡番老番入坑栗崎・式番入

后藤・三番瓜生・四番武井各相定メ候也

一 本日之捲始メハ六時三十分ナリ

一 当坑坑夫富田綱太郎・妻ヤスノ兩名病氣ニテ本日退坑

右㊦

十二月廿五日

一 瓜生・栗崎・武井・后藤・平野各小頭午前第五時三十分出勤入坑

ナス

一 朝倉取締八午前第三時出勤ナス

一 福沢取締八午前第三時出勤ナス

一 野中取締八午前第七時出勤ナス

一 本日之捲始メ午前第六時三十分ナリ

右㊦

十二月廿六日

一 瓜生・栗崎・武井・后藤・平野各小頭午前第六時出勤入坑此内后藤

昨夜式番方ニ付午前四時出勤ナス

一 朝倉取締八午前第三時出勤ナス

一 福沢取締八午前第四時出勤ナス

一 野中取締八午前第七時出勤ナス

一 本日捲始メハ午前第六時ナリ

右㊦

十二月廿七日

- 一 栗崎・后藤・武井・平野小頭午前第六時出勤入坑ナス
- 一 瓜生小頭ハ昨夜式番ニ付本日ハ休業ナス
- 一 朝倉取締ハ午前第七時出勤ナス
- 一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス
- 一 福沢取締ハ午前第七時出勤ナス
- 一 本日捲始めハ午前第六時ナリ

\* 一 金老円五拾銭 伊藤市太郎目病ノ為メニ貸渡ス（\*欄外「貸金」）

- 一 同式円 早良喜代吉ニ貸渡ス

- 一 新正雀松・木部徳造・稲員勤七・故太郎右四人ハ坑内ニテ前日ノ炭函立テタル儘上リタルヲ以テ本日各捲立ニ大井ニ函廻方ノ関係ヲ及ボシタルニ依リ前人ノ採掘賃投<sup>込</sup>取ナス処ニ函操及小頭合届出テタルモ初件ノ丁ニ付充分ノ説諭ヲナシ以後不都合ナサス様断リ申シタルニ付キ此度丈ケハ採掘賃金ヲ渡シタリ

右㊦

十二月廿八日 晴天

- 一 瓜生・后藤・栗崎小頭ハ午前第五時三十分出勤入坑ス
- 一 平野函操ハ午前第六時出勤入坑ス
- 一 武井小頭ハ昨夜二番ニ付本日休業ス
- 一 朝倉取締ハ午前第三時出勤ス
- 一 福沢取締午前第四時出勤ナス
- 一 本日始レ捲時間ハ午前六時ナリ
- 一 野中取締ハ午前第十時出勤ナス
- 一 本日広島県山形郡大朝村大字田原近藤喜三郎坑夫志願
- 一 前項志願坑夫近藤喜三郎へ肩入金老円貸与ス（\*欄外「貸金」）
- 一 本日遠坐九助カ去ル十二月九日坑内枳入中古枳ノ為メ負傷致シ居リタル救助ノ追加トシテ本日十日分ノ給与手続ヲナス

右㊦

十二月廿九日

- 一 武井・后藤・平野之小頭午前第六時出勤入坑ナス
- 一 栗崎小頭ハ昨夜式番方之儘出勤<sup>ニテ本日休</sup>
- 一 朝倉・福沢取締ハ午前第四時出勤ス
- 一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス
- 一 本日捲始めハ午前第六時ナリ

\* 一 本日坑夫志願者如左（\*欄外「貸金」）  
貸金拾式円老人ニ付金老円五十銭宛

- 一 妻クラ・中島国太郎・妻タカ・田中藤太郎・妻ハツノ九名逃走セリ
- 一 山本謙之・河原林之助・向山友造・常藤庄造・福田円造・上新造  
上郡造・鎌伊八

右八名

- 一 水夫大塚芳太郎・火夫<sup>（本）</sup>ノ者本日博奕ヲ取扱ヒタルヲ巡查尾上ニ見付ケラレ引行セントスル処瓜生氏・田中事務長ノ口弁ニ依リ以後相慎様身元ヲ引受ケ保証ト云フ丁ニ断言シ尚充分ノ説諭ヲ為シ相済シタリ
- 一 本日ハ瓜生氏出張ニ相成坑夫志願止メ及坑木外数件ノ咄シアリタリ

十二月卅日

- 一 栗崎・武井・平野之小頭午前第六時出勤
- 一 后藤小頭昨夜式番方ニ付本日休業
- 一 瓜生小頭欠勤ナス

一 朝倉取締ハ午前三時出勤ナス

一 福沢取締ハ午前第七時出勤ナス

一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス

一 本日捲始メハ午前第六時ナリ

\* 本年十二月廿四日志願シタル久富常造へ片山辰次郎ノ保証ニテ金

壹円五拾銭(諸道具料)貸与ス(\*欄外「貸金」)

\* 金三円 坑夫梅木旦兵衛ニ(諸道具料)貸与ス(\*欄外「貸金」)

尚本日志願ナス

右印

十二月卅一日

一 栗崎・后藤・武井之小頭午前第六時出勤ス

一 瓜生小頭ハ昨夜式番方之儘出勤

一 平野函操ハ午前第四時出勤ナス

一 朝倉取締ハ午前八時第三時出勤ナス

一 福沢取締ハ午前第三時出勤ナス

一 野中取締ハ午前第六時三十分出勤ス

一 本日捲始メハ午前第六時ナリ

\* 一 当坑坑夫猿原太市去ル二十四日坑内ニ於テ<sup>硬</sup>碓<sup>硬</sup>降落ノ為メ負傷ヲ為

シタルニ付キ本日一週間分ニ対スル金額壹円〇五銭ノ救助手續ヲ為ス

メ印

(\*欄外「救助」)

吁三十一ノ坤珠正ニ今日ヲ以テ終ヲ告グ三十一年ハ逝テ復ラズ逝ク

者追フモ詮ナシ否追テ不及今后来ル可キ三十二年ハ今ヤ正ニ盛装シツ

ツアリ吾輩ハ盛装シツ、来ル三十二年ヲ<sup>礼カ</sup>迎フルト共二三十二年ハ万

ヲ以テ葬ラン印

(一丁空白)

明治三十二年一月一日 晴天

一 本日ハ各員事務所ニ於テ新年ノ式ヲ挙ゲ各自退散ス

一 別ニ敢テ記ス可キ丁ナシ印

一月二日

一 瓜生・栗崎・后藤・武井ノ各小頭ハ午前第六時二十分出勤入坑ス

一 平野函操ハ欠勤

一 朝倉取締ハ午前第二時三十分出勤ス

一 本日ノ捲始メハ午前第六時三十分

一 野中取締ハ午前第七時五十分ナリ

一 福沢取締ハ午前第八時出勤ナス

一 本日坑夫中村峯次郎ナル者火夫大坪作次方ニ来リ火夫丸林<sup>ネ</sup>ナ

ル者ト花牌ノ貸借ヨリ戯レ居タル処其戯レニ少シク実ノ入りタル処

ヨリ火夫<sup>ネ</sup>ハ真ノ争鬪ト思ヒ遂ニ中村峯次郎ヲ火夫参名ノ者

協力戸外ニ押出シタルニ峯次郎ハ舛リテ各坑夫ニ殴打セラレタリト

訴エタルヲ以テ各坑夫ハ火夫ニ問罪セント協議ヲ為シ事頗ル容易ナ

ラザル景況ナルニヨリ野中部長ハ火夫三名並ニ中村峯次郎ヲ開坑部

ニ呼出シ双方ノ事実ヲ聞糺シタルニ事ノ原因ニ就テハ中村峯次郎カ

招キタル所為ヨリシテ遂ニ三人協力シテ戸外ニ追出シタル者ナルモ

火夫方三人協力ヲ為シ無理無体ニ峯次郎ヲ押出シタルハ事頗ル穩ナ

ラザル廉有之ニヨリ双方其所謂喧嘩両成敗トナシ火夫ノ方ハ職長高

島ニ托シ峯次郎ハ隣家梶原梅太郎ニ托シ双方無事ニ事ヲ納ムル様申

シ聞セ置ケリ

一月三日 雨天

一 武井・瓜生・后藤・栗崎ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑ス

一 平野函操ハ昨夜坑内夜警ナス

一 朝倉取締ハ午前第二時出勤ナス

一 福沢取締ハ午前第五時出勤ナス

一 捲始メ時間ハ午前六時ナリ

一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス

野中取締ハ午后七時分來客之為在宅ナリ

右

一月四日

瓜生・栗崎・后藤・平野小頭午前第六時出勤ナス

武井小頭ハ昨夜式番方ニ付本日休業ナス

朝倉取締ハ午前第五時出勤ナス

福沢取締ハ午前第六時出勤ナス

野中取締ハ午前第八時出勤ナス

本日之捲始メハ午前第六時式十分ナリ

右

一月五日 曇天時ニ霰降ル

武井・瓜生・后藤・平野ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑

栗崎小頭ハ昨夜式番方ニテ本日休業

朝倉取締ハ午前第三時出勤

本日ノ捲始ハ午前第三時<sup>六分</sup>十分

福沢取締ハ本日事故欠勤

右

一月六日 晴天

栗崎・武井・瓜生ノ小頭ハ午前第六時入坑ス

后藤小頭ハ昨夜業ニ付本日ハ休業ス

朝倉取締ハ午前第三時出勤ナス

福沢取締ハ午前第四時式十分ナリ

平野函操ハ小兒病氣ノ為メ本日ハ休業

捲始時間ハ午前第五時四十分ナリ

坑夫高木末一・伊ノ又徳次郎二人志願ナス (以下三行空白・完)

昭和三十二年正月一日  
 一月二日  
 瓜生・栗崎・后藤・平野ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑ス  
 武井小頭ハ昨夜式番方ニ付本日休業ナス  
 朝倉取締ハ午前第五時出勤ナス  
 福沢取締ハ午前第六時出勤ナス  
 野中取締ハ午前第八時出勤ナス  
 本日之捲始メハ午前第六時式十分ナリ  
 一月五日 曇天時ニ霰降ル  
 武井・瓜生・后藤・平野ノ各小頭ハ午前第六時出勤入坑  
 栗崎小頭ハ昨夜式番方ニテ本日休業  
 朝倉取締ハ午前第三時出勤  
 本日ノ捲始ハ午前第三時<sup>六分</sup>十分  
 福沢取締ハ本日事故欠勤  
 一月六日 晴天  
 栗崎・武井・瓜生ノ小頭ハ午前第六時入坑ス  
 后藤小頭ハ昨夜業ニ付本日ハ休業ス  
 朝倉取締ハ午前第三時出勤ナス  
 福沢取締ハ午前第四時式十分ナリ  
 平野函操ハ小兒病氣ノ為メ本日ハ休業  
 捲始時間ハ午前第五時四十分ナリ  
 坑夫高木末一・伊ノ又徳次郎二人志願ナス (以下三行空白・完)

『坑夫取締日誌』明治32年1月1日および同2日の部分